

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	高齢社会論		
担当者(Instructors)	三好 弥生	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

高齢社会に関する基本的な知識を学び、高齢者になっても住み慣れた地域で最期まで暮らすためには何が必要か考えることを目的とする。加齢に伴う具体的な心身の変化について学び、高齢期の生活について理解する。その上で、地域での暮らしを継続するには何か課題となる考えていく。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義を中心にすすめるが、適宜グループディスカッションを実施する

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業の概要	高齢社会とは	<input type="checkbox"/>
第2回	高齢社会の伸展	高齢化の過程、国際比較、将来推移/高齢化と人口減少の社会的影響、高齢化への対処	<input type="checkbox"/>
第3回	高齢者と家族	家族と3つのシステム、家制度、介護と家族/世帯構成の変化、一人暮らし世帯の増加	<input type="checkbox"/>
第4回	高齢期の社会・経済生活	所得、消費と貯蓄/就業と雇用、余暇活動、生きがい	<input type="checkbox"/>
第5回	高齢者の所得保障	公的年金制度、生活保護制度/高齢者雇用対策	<input type="checkbox"/>
第6回	高齢者福祉の理念と制度	高齢者福祉制度の成立、施設福祉から在宅福祉へ	<input type="checkbox"/>
第7回	高齢者の医療と介護保障	高齢化と医療制度、介護保険制度の成立、成年後見制度	<input type="checkbox"/>
第8回	加齢に伴う身体機能の変化Ⅰ	身体機能の生理的、形態的、生化学的变化 恒常性の保持能力の低下、廃用症候群とADL	<input type="checkbox"/>
第9回	加齢に伴う身体機能の変化Ⅱ	フレイル、老年症候群、慢性疾患と薬 健康寿命の延伸と介護予防	<input type="checkbox"/>
第10回	加齢に伴うこころの変化	生涯発達における老年期、老年的超越 パーソナリティの変化、適当と不適応、老年期の精神疾患	<input type="checkbox"/>
第11回	加齢に伴う認知機能の変化	認知機能と加齢によるその変化	<input type="checkbox"/>
第12回	認知症とそのケア	認知症の症状とBPSD、当事者と家族の思い 動画「若年性認知症者」を視聴	<input type="checkbox"/>
第13回	高齢者虐待と高齢者の犯罪	高齢者虐待の現状とその背景 高齢者による犯罪の現状とその背景	<input type="checkbox"/>
第14回	終末期と終末期医療	死に至る経過、高齢者の終末期の特性 終末期医療と高齢者の意思決定の課題	<input type="checkbox"/>
第15回	全体の振り返りとまとめ	授業を全体を振り返り、高齢者社会の課題を理解する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

次回の演習内容について、キーワードなどを調べ予習する(2時間程度)。終了後は学びを整理する(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題やレポートは翌週に発表し、ディスカッションを通してフィードバックすることを基本とする。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	高齢社会の統計、高齢者を対象とした各種制度、高齢者の心身の変化や生活状況について学び、高齢社会の理解を深める。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容) (Specific contents) 確認テスト (70%) ・ 課題レポートの提出 (30%)				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	小林武彦『なぜヒトだけが老いるのか』2023年、講談社現代新書	978-4-06-532640-4
2	博報堂生活総合研究所『消齡化社会 年齢による違いが消えていく！生き方、社会、ビジネスの未来予測』2023年、集英社	978-4-7976-8129-1
3	岸恵美子『ルポ ゴミ屋敷に棲む人々 孤立死を呼ぶ「セルフ・ネグレクト」の実態』2012年、幻冬舎新書	978-4-344-98262-8
4	芹沢俊介『家族という意志 -よるべなき時代を生きる』2012年、岩波新書	978-4-00-431363-2
5	ニコ・ニコルソン/佐藤眞一『マンガ 認知症』2020年、ちくま新書	978-4-480-07322-8